

2022年5月12日



各位

上場会社名 理研コランダム株式会社
 代表者 代表取締役社長 増田富美雄
 コード番号 5395
 問合せ先責任者 取締役経理部長 石川和男
 T E L 048-596-4411

業績予想の修正に関するお知らせ

直近の業績動向を踏まえ、2022年2月14日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(1) 2022年12月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想数値の修正

(2022年1月1日～2022年6月30日)

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	親会社株主に帰属 する四半期純利益 百万円	1株当たり 四半期純利益 円 銭
前回発表予想(A)	1,970	29	101	83	90 02
今回修正予想(B)	1,960	62	53	670	726 66
増減額(A - B)	10	33	48	587	
増減率(%)	0.5	113.8	47.5	707.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 2021年12月期第2四半期	1,832	18	111	84	90 59

(2) 2022年12月期通期の連結業績予想数値の修正

(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	親会社株主に帰属 する当期純利益 百万円	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想(A)	4,015	105	272	215	233 18
今回修正予想(B)	4,005	138	137	740	802 58
増減額(A - B)	10	33	135	525	
増減率(%)	0.2	31.4	49.6	244.2	
(ご参考)前期実績 2021年12月期	3,862	25	305	311	337 61

修正の理由

第2四半期累計期間における業績は、売上高はほぼ前回予想通りであります。営業利益は不採算製品の販売縮小や生産の効率化が寄与し当初予想を上回る見込みです。経常利益は第1四半期連結会計期間において持分法適用関連会社である淄博理研泰山塗附磨具有限公司が中国のコロナウイルス感染症拡大のロックダウンや中国経済の減速等により業績が悪化したこと、また第2四半期連結会計期間以降は淄博理研泰山塗附磨具有限公司の持分譲渡により連結の範囲から除外となり持分法による投資利益が見込めなくなることから、前回予想を下回る見込みです。親会社株主に帰属する四半期純利益については、淄博理研泰山塗附磨具有限公司の持分譲渡による出資金との差益や為替換算調整勘定および繰延税金負債の取崩し益を見込むため、前回予想を上回る見込みです。

また、通期の業績においても、第2四半期累計期間の要因により、売上高はほぼ前回予想通り、経常利益は前回予想を下回りますが、営業利益はおよび親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を上回る見込みであります。

(注)上記の業績予想値は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上